



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 共和電業

コード番号 6853 URL <http://www.kyowa-ei.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 星 淑夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 田中義一

TEL 042-489-7215

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	11,491	15.0	1,502	40.1	1,524	35.7	996	35.9
25年12月期第3四半期	9,995	6.5	1,071	73.3	1,123	84.4	733	130.5

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,049百万円 (20.5%) 25年12月期第3四半期 870百万円 (146.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	35.98	—
25年12月期第3四半期	29.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	19,874	11,747	59.1	423.42
25年12月期	19,496	10,916	56.0	395.16

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 11,747百万円 25年12月期 10,916百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	10.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成26年11月7日)に公表致しました「平成26年12月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	6.9	1,700	17.8	1,660	10.6	1,030	10.1	37.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	28,058,800 株	25年12月期	28,058,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	313,619 株	25年12月期	432,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	27,686,228 株	25年12月期3Q	25,182,400 株

当社は株式給付信託を導入しており、当該信託に株式給付信託口が所有する株式については、四半期連結財務諸表において自己株式として会計処理しているため、平成26年12月期3Q「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」には、当該株式給付信託が所有する当社株式の数(それぞれ26,000株、325,300株)を自己株式に含めて算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提のご利用にあたっては、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ後の消費の低迷などがあったものの、円安相場安定による企業収益の改善や設備投資の回復など、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国及び新興国経済の減速や、欧米の経済動向など、景気全体の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

計測機器業界におきましては、輸出企業を中心に設備投資の増加など、徐々に需要回復が見られる状況となりましたが、消費税増税後の消費低迷による企業の生産活動の低下に伴い、設備投資に対する慎重な姿勢も見受けられる状況となっております。

このような事業環境のなか、当社グループは、「第4次中期経営計画」の2年目として、新たな事業領域の開拓とグローバルビジネスの拡充をはかる各種施策の推進に、引き続き取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における受注高は、消費税増税後の消費低迷に伴う企業の生産活動の低下などにより、11,458百万円（前年同期比0.3%増）となりました。また、売上高につきましては、大型案件の寄与などもあり、11,491百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

収益につきましては、販売費及び一般管理費の増加や売上原価率の上昇があったものの、売上高の増加により、営業利益は1,502百万円（前年同期比40.1%増）、経常利益は1,524百万円（前年同期比35.7%増）、四半期純利益は996百万円（前年同期比35.9%増）と前年同期に比べそれぞれ増益となりました。

なお、株式の流動性を高め、より多くの投資家に当社株式を保有していただくため、11月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更することを、9月24日開催の取締役会で決議しました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## ①計測機器セグメント

センサ及び測定機器等の製品販売につきましては、センサ、測定器の汎用品が企業収益の改善を背景にした年度末の設備投資の増加により、また特注品やシステム品については、昨年受注した高速道路向け車両重量計測システムやダム の堤体観測装置等の大型受注残の売上に伴い、売上高は9,924百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

保守・修理部門につきましては、機器修理が堅調に推移し、売上高は633百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

以上、その他を含め、計測機器セグメントにつきましては、売上高は10,558百万円（前年同期比17.0%増）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は4,284百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

## ②コンサルティングセグメント

コンサルティングセグメントにつきましては、ダムの安全性を計測するセンサの設置等のダム関連分野が堅調に推移いたしました。各種計測の業務委託分野が低調であったため、売上高は933百万円（前年同期比4.3%減）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は採算性向上により366百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

## a. セグメント別受注状況

(単位：千円)

項目	前第3四半期連結累計期間 自平成25年1月1日 至平成25年9月30日		当第3四半期連結累計期間 自平成26年1月1日 至平成26年9月30日		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
計測機器	10,457,459	3,737,248	10,491,391	3,122,217	33,932	△615,031
コンサルティング	969,910	235,093	967,245	270,404	△2,665	35,311
合計	11,427,369	3,972,341	11,458,636	3,392,621	31,267	△579,720

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## b. セグメント別売上状況

(単位：千円)

項目	前第3四半期連結累計期間 自平成25年1月1日 至平成25年9月30日		当第3四半期連結累計期間 自平成26年1月1日 至平成26年9月30日		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
計測機器	9,021,133	90.2%	10,558,743	91.9%	1,537,610	17.0%
コンサルティング	974,782	9.8%	933,021	8.1%	△41,761	△4.3%
合計	9,995,915	100.0%	11,491,764	100.0%	1,495,849	15.0%

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は19,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円の増加となりました。

流動資産は13,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が145百万円、たな卸資産が466百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が420百万円減少したことによるものであります。

固定資産は6,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産が86百万円、無形固定資産が57百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は8,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円の減少となりました。

流動負債は5,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ469百万円の減少となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が455百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、2,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金が63百万円、リース債務が29百万円、それぞれ増加した一方で、退職給付引当金が69百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は11,747百万円となり、前連結会計年度末に比べ830百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が、配当に伴う減少276百万円及び四半期純利益による増加996百万円による差引き等で719百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月6日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,433,898	4,579,366
受取手形及び売掛金	4,766,388	4,346,357
有価証券	830,000	730,000
商品及び製品	919,124	938,848
仕掛品	1,026,340	1,220,132
未成工事支出金	45,298	73,959
原材料及び貯蔵品	1,088,297	1,313,071
その他	363,453	495,838
貸倒引当金	△3,348	△845
流動資産合計	13,469,453	13,696,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,362,745	2,260,342
その他(純額)	1,475,053	1,664,268
有形固定資産合計	3,837,799	3,924,610
無形固定資産		
	116,577	174,507
投資その他の資産		
その他	2,074,144	2,080,433
貸倒引当金	△1,888	△1,871
投資その他の資産合計	2,072,255	2,078,562
固定資産合計	6,026,632	6,177,680
資産合計	19,496,085	19,874,408
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,505,876	1,588,793
短期借入金	1,480,000	1,450,000
未払法人税等	369,878	323,735
賞与引当金	175,332	580,401
役員賞与引当金	43,600	30,706
その他	2,136,264	1,267,713
流動負債合計	5,710,951	5,241,350
固定負債		
長期借入金	310,544	374,000
退職給付引当金	2,365,457	2,295,727
役員退職慰労引当金	129,951	135,350
資産除去債務	11,919	12,097
その他	50,316	68,010
固定負債合計	2,868,190	2,885,185
負債合計	8,579,141	8,126,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,723,992	1,723,992
資本剰余金	1,773,005	1,800,550
利益剰余金	7,210,857	7,930,783
自己株式	△113,058	△82,637
株主資本合計	10,594,795	11,372,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,032	290,368
為替換算調整勘定	78,116	84,816
その他の包括利益累計額合計	322,148	375,184
純資産合計	10,916,944	11,747,872
負債純資産合計	19,496,085	19,874,408



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,995,915	11,491,764
売上原価	5,873,348	6,840,288
売上総利益	4,122,567	4,651,476
販売費及び一般管理費	3,050,816	3,149,421
営業利益	1,071,751	1,502,054
営業外収益		
受取利息	6,169	11,042
受取配当金	18,440	21,777
為替差益	46,333	8,675
その他	28,463	28,197
営業外収益合計	99,407	69,693
営業外費用		
支払利息	34,252	22,766
シンジケートローン手数料	—	14,200
その他	13,658	10,278
営業外費用合計	47,911	47,244
経常利益	1,123,246	1,524,503
特別利益		
投資有価証券売却益	3,750	—
特別利益合計	3,750	—
税金等調整前四半期純利益	1,126,996	1,524,503
法人税、住民税及び事業税	564,579	632,856
法人税等調整額	△170,704	△104,544
法人税等合計	393,875	528,311
少数株主損益調整前四半期純利益	733,121	996,191
四半期純利益	733,121	996,191

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	733,121	996,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,839	46,335
為替換算調整勘定	30,848	6,700
その他の包括利益合計	137,688	53,036
四半期包括利益	870,810	1,049,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	870,810	1,049,227

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,021,133	974,782	9,995,915	—	9,995,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,021,133	974,782	9,995,915	—	9,995,915
セグメント利益	3,778,027	344,540	4,122,567	—	4,122,567

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

I. 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,558,744	933,020	11,491,764	—	11,491,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,558,744	933,020	11,491,764	—	11,491,764
セグメント利益	4,284,784	366,691	4,651,476	—	4,651,476

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。